

令和3年6月高浜市議会定例会会議録（第3号）

日 時 令和3年6月16日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

日程第1 一般質問

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

一般質問者氏名

1. 内藤とし子議員 (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
(2) 生理の貧困の取り組みについて
(3) 図書館行政について

出席議員

1番	荒川 義孝	2番	神谷 直子
3番	杉浦 康憲	5番	岡田 公作
6番	柴田 耕一	7番	長谷川 広昌
8番	黒川 美克	9番	柳沢 英希
10番	杉浦 辰夫	11番	北川 広人
12番	鈴木 勝彦	13番	今原 ゆかり
14番	小嶋 克文	15番	内藤 とし子
16番	倉田 利奈		

欠席議員

4番 神谷 利盛

説明のため出席した者

市 長	吉岡 初浩
副 市 長	神谷 坂敏
教 育 長	岡本 竜生
企 画 部 長	深谷 直弘
総合政策グループリーダー	榊原 雅彦
秘書人事グループリーダー	神谷 義直
総 務 部 長	杉浦 崇臣

財務グループリーダー	清 水 健
市民部長	磯 村 和 志
福祉部長	加 藤 一 志
地域福祉グループリーダー	加 藤 直
介護障がいグループリーダー	野 口 恒 夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野 口 真 樹
健康推進グループリーダー	内 藤 克 己
こども未来部長	木 村 忠 好
こども育成グループリーダー	磯 村 順 司
文化スポーツグループリーダー	鈴 木 明 美
文化スポーツグループ主幹	村 松 靖 宜
都市政策部長	杉 浦 義 人
土木グループリーダー	清 水 洋 己
都市計画グループリーダー	島 口 靖
防災防犯グループリーダー	杉 浦 睦 彦
上下水道グループリーダー	石 川 良 彦
学校経営グループリーダー	岡 島 正 明
学校経営グループ主幹	鈴 木 剛

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	竹 内 正 夫
副 主 幹	神 谷 直 子
主 査	杉 浦 幸 宏

議事の経過

○議長（柳沢英希） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（柳沢英希） ただいまの出席議員は15名であります。よって、これより会議を開きます。
お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあ

ります日程表のとおりと決定をいたしました。

これより本日の日程に入ります。

○議長（柳沢英希） 日程第1 一般質問を行います。

15番、内藤とし子議員。1つ、新型コロナウイルス感染症対策について、1つ、生理の貧困の取り組みについて、1つ、図書館行政について、以上、3問についての質問を許します。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） おはようございます。

それでは、議長のお許しを得ましたので、日本共産党を代表して、質問をさせていただきます。新型コロナウイルス感染症対策について。

高浜市では、昨年末には47人でどこの自治体よりも感染者が少ないと言っていましたが、あっという間に5月14日には241人と膨れ上がってしまいました。コロナ感染では一刻も早く収束させなければなりません。一つにはワクチン、一つにはPCR検査などウイルスを早く見つけて感染をとめなければなりません。時間がたてばたつほどウイルスは変異もしてしまいます。

そこで、ワクチン接種についてですが、県内の自治体では、中学生や高校生、特に高校生の3年生には優先的に接種するところ、大学の受験勉強や就職活動に専念してもらい浪人生も対象とし、接種券を7月上旬に送付、夏休み中には完了を目指すところなど様々出ています。

そこで、個別接種の進捗状況と集団接種の予約と接種の状況と高浜市の今後の接種の予定について改めてお聞きいたします。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 集団接種の進捗状況でございますが、今週の木曜日から第2回の接種が始まる予定となっております。

進捗状況は、今週の木曜日から第2回が始まる予定となっております……。

○議長（柳沢英希） 福祉部長。

○福祉部長（加藤一志） ちょっとお答えをさせていただきます。

昨日の一般質問の中でもお答えをさせていただきましたが、集団、個別で全体で8,845の方が予約をされているということは昨日申し上げました。進捗状況ですが、接種率のほうは、そのうちの先週の土曜日末現在になりますが、4,020人ということで、パーセントにしますと大体40%ぐらいの方が終わられているという状況であります。

そして今後の見込みということで、これも昨日お話をさせていただきましたが、60歳から64歳の方、基礎疾患をお持ちの方、そして高齢者施設の職員の方、この方については6月21日にクーポン券を発送させていただく、そして6月28日にその下の5歳刻みの年齢、55から59歳の方、この方についてクーポン券を発送していく、今そういうような状況でございます。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 分かりました。

それでは、今のところ順調にといいますか、その中で個別接種と集団接種が行われているんですが、個別接種のほうはどの程度で、集団接種のほうはどの程度の予約接種がやられているのか分かりましたら教えてください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） こちらも昨日お答えさせていただいておりますが、個別接種につきましては、6月4日時点の数字にはなりますが、6,043人の方が予約の受付を終えてみえます。

それから、集団接種につきましては、いきいき広場756名の方が予約を入れられております。あと高浜豊田病院での予約につきましては、1,656人の方が予約を終えられております。合計で9割近くの方が予約を終えられているという状況でございます。

接種につきましては、先ほど申しましたように5月24日の週から1回目の接種が個別、それから集団始まっておりますので、今週から2回目の接種が始まっているという状況でございます。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） それでは、難聴者など耳の不自由な方、家で寝たきりの方、体の不自由な方などはどのように対応しているのか、またその状況をつかんでいるのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） こちらも昨日お答えさせていただいてはおるんですが、実際に医師会の先生から患者さんの御自宅に伺ってワクチンの接種を行う上での取扱い方法などに関するお問い合わせもいただいております。そういった方への対応もかかりつけ医の先生方のほうが会場に出向けない方への個別対応をさせていただいております。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 往診をしていただける方は分かるんですが、往診をしてみえないところにかかっているというか、そういう人たちはどのようにされているのか分かりましたら教えてください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 先ほど難聴の方とかという御質問がありましたが、御予約方法、あるいは接種方法が分からない方につきましては、直接窓口に来て御本人、あるいは御家族の方が御相談にみえるというケースがございます。

あと御自宅にいらっしゃる方につきましては、御家族の支援の下で受付、あるいは接種のほうをお手伝いをしていただいているという状況でございます。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 分かりました。

それでは次に移りますが、市内にある保育園が休園に至ったという報告を受けていますが、その園の経過と現状についてお答えください。

○議長（柳沢英希） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 市内で休園した園につきましては、必要に応じていうことで、消毒をしたりですとか、感染者の状況を判断した上で休園を行っておりますので、その休園を経た後に通常どおり運営を開始しているということでございます。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） その園の中ではどれぐらいの数の方たちが感染していたのか、そういう面ではお答えいただけませんかでしょうか。

○議長（柳沢英希） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 私どものほうでつかんでいる公表している数字というところで見ますと、これまでに合計で4園ほど休園しているパターンがあるんですが、その中で一番大きかったのが最初の報道のところの中で関係者4名というところがありますので、それ以上のところについては、基本的に保健所の県の管轄になってまいりますので、よろしくをお願いします。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 休園されたということなんですが、何日ぐらい休園されたのか分かりましたら教えてください。

○議長（柳沢英希） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 最大のところでいきますと、12日間になりますかね。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 次に移ります。

このように子供にはうつらないというような話も最初の頃は出ていたんですが、そんなことも言っておれないような状況になってきています。そこで、コロナウイルスを収束させるにはPCR社会的検査の活用をしっかりと行わなければ幾らワクチンを打ったからといってうつらないわけではありませんので、それは難しいと思うんですが、このPCR社会的検査の活用状況と実施する考えをお聞かせください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） これまでも市内医療機関において新型コロナ感染者の疑いがあると医師が判断すれば確実に行政検査が実施されています。とりわけクラスターの発生リスクが高い高齢者施設につきましては、愛知県が6月末までは毎週一度高齢者施設等職員に対するスクリーニング検査を実施していることから、市として社会的検査を実施する考えはございません。

なお、高齢者施設の入所者については、先行してワクチン接種が行われており、また高齢者施設の職員についても今後優先接種としてワクチン接種が実施されます。

以上です。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） それでは、医療機関などは優先的にワクチン接種が行われたと聞いていますが、この先ほど言った保育園、幼稚園、学校などにPCR社会的検査を広げなければコロナウイルスを完全に収束させることは無理かと考えますか、その点ではどのようにお考えかお答えください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 先ほども申し上げましたが、市としてPCR検査社会的検査を実施する考えはありませんが、そういった保育園とか学校の先生の接種についても検討を進めてまいりたいと考えております。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） ぜひそういう面では広く、また何度も検査をしなければということを考えますが、この高齢者施設のスクリーニング検査ですか、3月末には終わるといような話もあったのが6月になりましたので、それでも遅いという、遅いは遅いんですが、ぜひこれを早くやっていただくように県のほうにもぜひ強く進めていただくようお願いしたいと思います。

それから、商工会に寄せられる相談で、去年に続き今年の自粛の影響が出ているのではないかと思います、今年度の実態について商工会から何か御相談などはあるのでしょうか。教えてください。

○議長（柳沢英希） 市民部長。

○市民部長（磯村和志） 地元商店さんをはじめといたしまして企業さんの状況でございますが、商工会さんのほうとは定期的に意見交換をさせていただいておりますが、現段階ではこのコロナの影響で非常に経営が苦しいとか、こういった財政支援をしてほしいというような御要望はお聞きはいたしておりません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 私個人的にはある料理屋さんやなんかではそういう話も耳にしているんですが、これからもっと引き続きとなると厳しくなると思いますので、ぜひそういう点ではしっかり聞いて対応していただくようお願いしたいと思います。

次に移ります。

全国で変異株が発見されています。6月11日でしたか、212人と報道されていまして。そこで子供にはコロナは感染しないと言われていたのが高浜市にも子供の感染者が出てきたことから、市内における変異株のウイルスの感染状況についてどのように考えているのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 県のホームページで随時変異株の陽性例が発表されておりますが、

市町村ごとの陽性例に関する発表はされていないため、感染状況を把握することはできません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 今また新しい変異株が出てきましたが、非常に感染力が強いという話もあります。こういう面では県のほうにしっかりどのようになっているのか話を聞いて、しっかり市のほうで分からないではなくて、連携を強めてやっていっていただきたいと思います。

それから、今現在かなり入院したときに病床数、病床率、有床率ですか、下がっているというふうに聞いていますが、今感染したとして入院はできるのかどうか教えてください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 入院できるかどうかという御質問でございますが、こちらにも実際に陽性判定がなされた後、県、あるいは保健所の判断で入院するかどうかが決まってくると思いますので、市としては詳細は把握しておりません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 5月28日ですか、国から事務連絡が来ていると思いますが、これについてはどのような事務連絡が来ているのか教えてください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 5月28日の事務連絡と言われたんですが、今どういうものが5月28日に該当しているのか把握ができません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） これは高齢者施設等の従事者に対する集中的検査の対象施設の拡大について事務連絡が来ていると思うんですが、外部との接触の機会が多い通所系の事業者も対象とすることを検討してくださいというのが事務連絡で来ていると思うんですが、この点で先ほど県のほうでスクリーニング検査していると言われましたが、この通所系の事業所も対象とするということについてはどのように考えてみえるのか教えてください。

○議長（柳沢英希） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 今高齢者施設のスクリーニング検査、入所施設を県が実施してございます。当然通所のほうもそれに倣って県のほうで実施していただくというふうに考えておりますので、その情報を待ちたいと思います。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 何でも県、県で県の動きを待っているだけではやはり遅れていってしまうと思いますので、ぜひ県のほうに申請もして早めに進めるようお願いしたいと思います。

次に、経済的な理由で生理用品の購入ができないと学生5人に1人が生理用品の入手に苦労しているとNHKが報じたのは3月4日でした。衝撃が広がり、以来3か月、自治体や国に対策を迫る声が一気に高まりました。

内閣府の男女共同参画局のホームページには、各地の取組が掲載されています。それによると、全国で255自治体が生理の貧困に関する取組を実施しています。調達元は防災備蓄が184件、予算措置が55件、寄附が44件などです。愛知県では23自治体を実施、うち防災備蓄から調達が19自治体です。6月に入ってから岩倉市も防災備蓄を活用する方向で具体化を進めています。高浜市も防災備蓄用品を活用し、必要な方に無償配布をしています。大変貴重な取組で評価するものです。

そこで、5月12日から高浜市でも始めたこの取組がどのような現状にあるのか伺います。お答えください。

○議長（柳沢英希） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（加藤 直） この生理用品の無償配布は、4月19日に公明党高浜市議団より高浜市長に提出されました生理の貧困に対する要望書を契機に開始しております。その趣旨は、コロナ禍で経済的な事情で生理用品を購入することが難しい女性への支援として、防災備蓄用品を活用するものであります。

受取方法、小・中学校は、児童・生徒の学校の保健室で養護教諭から、一般の方はいきいき広場福祉部の窓口で女性職員から受け取るようにしております。受取りに必要となる専用カードは、市役所、いきいき広場、女性文化センターの女子トイレに備えられており、また公式ホームページからも画像データを入手できるようにしております。

無償配布につきましては、5月12日から開始しており、実績としては9件となっております。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 婦人団体が支援婦人と言いますが、一斉に自治体に学校配布を要請し、促進、また保健室に取りに行くのではなく、生理の貧困は女性の人権問題として、また子供の貧困問題として取り組む上で幾つかの角度がありますが、備えつける、設置をするのがよいと考えます。トイレットペーパーと同じようにどこのトイレにも生理用品を設置する、トイレ個室に設置をすることが基本ではないかと考えますが、お答えください。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 学校におきましては、これまでも忘れてしまったり、急に必要になったりした児童・生徒には保健室に来るように連絡をしております。この制度でこの仕組みでもう何十年やっているといるところでもあります。保健室にこうして来る児童・生徒には、養護教諭がその内容を丁寧に聞き取りをしています。急になっちゃったのか、たまたま今日忘れてしまったのか、それとも家庭でも用意ができなかったとかそういうことを丁寧に聞き取りをしながら困っていることが確認できれば渡すということでやらさせていただいておりますので、この仕組みを今後も継続をさせていただくということで、現段階では生理用品をトイレに置くという考えは持ち合わせておりません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） それでは、文科省はどのような見解があるのか分かりましたら教えてください。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） すみません、そちらにつきましては、現在把握はしておりません。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 文部大臣は4月14日の事務連絡で提供場所を保健室のほかに設けたり、必要とする児童・生徒が安心して入手できるよう提供方法や配置場所等の工夫なども検討いただきたい、保健室等に通常備えている生理用品を渡した場合に返却を求めないとなりました。その点ではいかがでしょうか。高浜中学校では、1つ借りていくと後で返しに行く、返却することが当たり前になっていると聞きましたが、この点ではどのようにになっているのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 借りたら返すのかというところではありますが、内容によって分けさせていただいておるといところです。忘れてしまったりだとか、急になってしまったということであれば、また返せるときに持ってきてねということでやらせていただいておりますし、今回のこの取組が始まってから家庭で用意ができなかったのという申出はまだないんですけれども、そういうことがあればもうそれは渡しっぱなしというような形でやらせていただく予定であります。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 誰でもが保健室に行けるわけではないと思います。行きにくいという生徒もいると思います。近所の女子生徒に尋ねたところ、トイレットペーパーで応急手当をされると言われました。友達もそうしているよと言われました。

近隣市の状況を申し上げますと、岡崎の図書館は20個ぐらいが袋に入っていて洗面所の隣の壁に備えてありました。安城市も保健室対応ですが、返却などはしなくてよい、以前から予算がついているそうです。そこに防災備蓄用品が上乘せされています。刈谷市も保健室対応ですが、返却はしなくてよいとなっています。

トイレットペーパーと同じように生理現象として用意すべきと考えます。生理で萎縮する生徒をなくし、性教育とジェンダー教育をどの子にもすべきです。貧困対策にとどめず、トイレットペーパーのように生理用品が当たり前にある社会にしようではありませんか。お答えください。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） まず先ほどのお話はさせていただきましたが、本市におきましても家庭で準備ができないということであれば返却を求めるものではないということをお話をさせていただきます。

学校におきましては、なかなか行きにくくて来れてないというようなことを現段階では把握はしておりませんが、まずこれは生理の問題だけではなくて、いじめとかそういうものにも同じだと思うんですけれども、子供たちが教員に何でも話せる、そういう関係をしっかりと作っていくようにまず取組を今も実際進めておるわけですが、そこにまた力を入れて1人で困っている子がいないようにそんなことをまずやらせていただきたいなと思っています。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 現在は無償配布を生理の貧困ということでやっているわけですが、これやはりトイレットペーパーと同じように、持ってくるのを忘れても当たり前使えるというか、取り換えられるようにしなくてはいけないと思うんですが、この個別の部屋に置くとか、巾着袋でトイレに取りつけるなどという学校が今増えているそうです。どこに備えるのか先生が決めるというところもあるようですが、生徒と先生が話し合っただけで自分たちで考えて取りつけてもらうと、大人や先生が何でも決めなくてはいけないというものではないと思います。この点ではどうお考えでしょうか。これはテレビで放送していたものですが、生徒と先生に決めさせる方法、今後トイレに備えつけるということになっていく場合にぜひこういう方法をとっていただきたいと思いますが、これについてはどのようにお考えでしょうか。お答えください。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 子供たちにはやはり自分で考えて判断をしてということと授業とか行事を通して求めている部分も多々ありますので、近隣のそういった取組を私どもも少し勉強させていただきながら参考にさせていただきたいと思っています。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） この取組については、大変評価できる取組であって、ぜひ進めていただきたいと思うんですが、防災備蓄用品だけではなくて、安城市のように予算をつけて継続的に取り組んでほしいと考えて要請いたしておきます。

次に移ります。

図書館行政について。

広報紙で今年になってから図書館の形など取組が進んでいますが、広報紙は市内の約半数の世帯にしか配布はされていません。市内に1つしかない図書館をどうするのか、大きな問題です。そこで、全市民の意見を聞く考えがあるのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 図書館のあり方について、市民の皆様の意見を聞く取組についてという御質問でございますけれども、現在取り組んでおることについてお答えをさせていただきます。

まず、広報たかはまの連載におきまして、6月1日号から連載に対する感想や御意見をお寄せ

いただけるようにQRコードのほうつけまして、そこでアンケートにお答えいただけるということを実施しております。それから、文化スポーツグループのホームページにおきましても、広報たかはまのこれまでの連載を掲載するとともに、アンケートフォームのほうも用意して御回答いただけるようになっております。そのほかに図書館の利用者の方からも御意見いただけるようにということで、図書館の中で広報の連載記事を掲載するといったことも行っております。

これ以外にも現在直接市民の皆様と対話する機会といたしまして、出張座談会というものを行っております。例えば子育てや教育関係の団体の方、関係者、それからまちづくり、社会教育関係の団体の方々ということで、図書館ボランティアの方々以外の方とも意見交換を行っているというところがございます。

それから、さらに来月の7月3日には、札幌市中央図書館の浅野隆夫さんをゲストにお招きしまして、フォーラムとして「図書館の新たなカタチ」を開催する予定をしております。図書館機能移転についての市の基本的な考え方をお示しするとともに、ゲストの方や参加者の皆様とこれからの図書館が果たす役割、機能について深めてまいりたいというふうに考えております。

このように様々な手法を用意して、図書館、あるいは図書に対して御関心いただける方々から御意見をお寄せいただける仕組みというのは用意しているところでございます。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） そのいろいろな立場の方たちからいろいろな意見を聞くということは大変よいと思うんですが、この7月3日の札幌の浅野さんですね。これ、札幌中央図書館サービス課長なんですが、この方は総務省から札幌にみえた方ではないかと思うんですが、この方は行政主導型の役人さんではないかと考えますが、その点でちょっともし間違っていたらいけませんので、お答えください。

○議長（柳沢英希） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 来月お招きする浅野隆夫さんですけども、総務省のほうから派遣されている方ということではなくて、札幌市の職員の方であります。ただ、全国のいろいろな各地の事例のところにも携わっております。図書館のあり方について造詣が深い方でいらっしゃるというところで今回ゲストにお招きして、お話を聞きながらあり方について深めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 今後は機能移転を機として複合化、集約化する方向で検討を進めていますと、そこで移転先候補として、いきいき広場やかかわら美術館を検討していますと6月の広報紙であります。いきいき広場の予定している部屋は、発達障がいの方たちの部屋となっております。また今はワクチンを接種する部屋として使う使わないにかかわらずそのようにあてがっています。週に3回使うと聞いていますが、このように現在使っている利用者がいるわけですが、こういう

部屋を図書館として使用するとなると、使ってみえる利用者さん、今後もまたこのようにいろいろな形で使われると思うんですが、こういう方たちが困る方たちも出てくるわけで、この面をどのようにするのか、それも考えずに図書を置くということなのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 内藤議員、残り3分程度になります。

文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 今御質問のあったいきいき広場で予定している部屋というのは、昨年度行いました機能移転の調査のところで候補として挙げている部屋ということでございますので、まだそこを使うということではなくて、そこを使うのであればこういった使い方ができるのではないかと御理解をいただきたいと思います。もし使っていくということであれば、当然今の利用状況だとかそういうところも把握しておりますので、そういったところを調整しながら検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（柳沢英希） 内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 市民の意見を聞いてと昨日の答弁でも言ってみえましたが、このいきいき広場とかわら美術館、なぜ二者択一なのか、二者択一ではない両方使うという第三の道もあるよと言われるかもしれませんが、実際には場所としては2つの場所が言われているわけですが、これ市民皆さんに聞いて2つの場所は出てきたのかどうかお答えください。

○議長（柳沢英希） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 機能移転先の候補をなぜいきいき広場、美術館にしているのかということについては、過去の一般質問の答弁等でもお答えしているとおりでございます。基本的な考え方として、既存施設に複合化していき、その施設の効果をねらっていくといったような思いがありまして、そういったところを候補に挙げております。

それから、場所について今意見を聞くべきだといったような趣旨だと思いますけれども、何でも白紙でお聞きするというのではなくて、市としての考え方をお示ししながらそれに対して御意見いただくというような形で進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（柳沢英希） 内藤議員、残り55秒ぐらいです。

○15番（内藤とし子） この二者択一の場所についての私どもはこういう場所があるというのを最初のときにも聞いていませんし、私はこの場所については非常に考えがまだまだ足りない、しっかり場所については考えていただきたい、それが決まるまではやはり今のところで続けていきたいと思っています。

以上です。

○議長（柳沢英希） 以上で通告による質問は終了いたしました。

これより関連質問を許します。質問は1人1問、5分以内といたします。

なお、関連質問ですので、簡潔にお願いいたします。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） 昨日の14番議員の新型コロナウイルス感染防止対策、ワクチン接種についての関連で御質問をさせていただきます。

まず私どもの議会のほうから出させていただいた決議に対しまして、いち早い動きをしていただいているところに対しましては、お礼をさせていただきたいと思います。

今後企業や学校が職域接種と言われるような形で集団接種を行っていくような動きが今出つつあるということでありますけれども、もし高浜市にある企業がそういうような職域集団接種を行うということになれば、市内在住の方々、その社員さんたち、あるいは家族だとかというところも含めて、そちらの企業さんのほうへ優先的に打っていただくことによって、一般枠のほう为空いてくるのではないかなというふうに思うわけです。それが社員さんとかその家族さんからすればどちらが先になるのかという御心配もあるのかもしれませんが、企業さんとか学校だとかというのは、確実に社員、家族の方々を守りたくてワクチン接種を集団でやるというふうに手を挙げられるというふうに思っております。そのような動きを行政としてもいち早くつかんでいただいて、そういう企業のほうに働きかけをぜひしていただけないかなと思いますけれども、そういうところに対しての考え方をお教えいただきたいと思います。

○議長（柳沢英希） 福祉部長。

○福祉部長（加藤一志） 議員今おっしゃられましたように、職域はモデルナを使う、一般はファイザーを使うということは、おっしゃったように市の中でファイザーが使える部分が増えていく、職域のほうはモデルナを使っただけということで、その部分についても大変メリットがあります。もし職域が進むようであれば私どものほうとしては、これはやはり大きな課題の中では医師の確保というところが出てきますので、市内の医療機関、高浜豊田病院、こういったところとの橋渡し役、パイプ役というのはぜひ担わせていただきたいな、このように考えております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） 昨日の8番議員さんの市民憲章についての御質問に対して関連して質問をさせていただきます。

市民憲章の「スポーツに親しみ、健康な体をつくります。」という一文に対して、体育センターが取り壊されることに触れられ、スポーツ施設のさらなる充実という趣旨の御質問でした。私自身スポーツに関心がありますので、少し調べてみましたところ、スポーツ庁が公表しております平成31年1月のスポーツ実施状況等に関する世論調査の結果で、この1年間で行った運動やスポーツの実施場所についての問いがありました。何と1番は道路、次に自宅または自宅敷地、公園という順の結果になっていました。このような結果からも施設だけが運動やスポーツの場所で

はないということがうかがえます。

当局としてこのような状況を踏まえて、スポーツに親しむということに対してのお考えをお願いいたします。

○議長（柳沢英希） こども未来部長。

○こども未来部長（木村忠好） スポーツの推進につきましては、私ども「いつでも、どこでも、誰でも」こういった考えの下、スポーツのほうの推進を進めております。とりわけ今お話がありました「どこでも」というところにつきましては、今議員おっしゃられたとおり屋内の施設だけではなくて、道路であったり、自宅、また公園というところもスポーツを推進していく場所というふうに考えております。

また、こうした道路であったり、自宅であったりというところでは、恐らく団体というよりは個人の方が実施されているんだろうなというふうに思います。屋内で行う団体のほかにもこうした場所で行う個人、誰でもというところでこうしたところ私ども推進していくということで、スポーツに親しむというところは幅広く捉えまして、どこでもということは、屋内の施設だけではなくて、道路であったり、自宅であったり、公園であったり、広く考えているところでございます。

○議長（柳沢英希） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 昨日の5番目、杉浦議員の質問の中で、人と人とのつながりが重要というお話がありました。しかし、高浜市の広報紙は現在50何%ですか、平均がその世帯にしか入っていないということです。これどんどん町内会に入っている人も減ってきていますし、町内会に入っている方たちが減るから広報紙が減るという状況があります。この点では台風や大きな災害のときに隣に住んでいても余りよく知らないというようなこともあるとなかなかみんなで町内で助け合って避難するということは難しくなっているかと思えます。そういう点ではどのように考えてみえるのかお答えください。

○議長（柳沢英希） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） まさに今内藤議員いいことをおっしゃっていただきました。私どもは市長の言葉をかえますと、南海トラフの地震は必ず来ます。必ず来ますので、今広報紙のほうが半減している、そういうことを打破する取組をやっていきますという決意でありますので、よろしく申し上げます。

○議長（柳沢英希） ほかに。

8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 今の15番議員の図書館行政の中でちょっと関連をして質問させていただきたいと思えます。

今まで図書館のほうはいつでもどこでも図書館構想というのを進めてきたと思いますけれども、その構想は今後も維持するのかどうかお尋ねしたいということと、それと今回の複合化の話ですね、いきいき広場とそれからかわら美術館、そののところを利用してという関連性はどのようなことを考えているのかをお答えください。

○議長（柳沢英希） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） インターネット等で予約して身近な場所で借りたり、返すことができる、いつでもどこでも図書館構想のほう現在も推進しております。この制度のことも含めてあり方検討ということを行っております。いきいき広場とかかわら美術館の機能移転先とも関連して、全体として検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 関連質問もないようですので、以上で関連質問は終了いたしました。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

再開は6月18日午前10時であります。

本日はこれにて散会といたします。御協力ありがとうございました。

午前10時50分散会
